

電子写真トナーの〇〇〇化限界について

企画者: ○村△博*(会員番号: 21X8), ○〇電子株式会社 情報技術センター
 司会者: □☆崎◎輔(会員番号: 3YP6), □□大学工学部 画像情報工学科

Limitation of #####ization for Electrophotographic Toner

Planner: K####hiro S####mura*, Information Technology Center, A##### Electric Company, Ltd.

Facilitator: N####suke H#####zaki, Department of Image Information Engineering, Faculty of Technology,
 P### University

【企画の概要】オフセット印刷市場の代替を狙う POD 市場に求められる技術課題として、印刷に迫る高☆☆の実現がある。本企画では、☆☆性能とトナーの〇〇〇化の効果についての再確認を行うとともに、製造技術面、法規制の動向と合わせて議論することで、電子写真技術として、〇〇〇化に取り組む価値、限界、限界打破の方策について多面的な考察を行い、今後の指針を見出すことを目的とする。

発表1: トナーの〇〇〇化が☆☆性能にもたらす影響と限界

△島◎雄(会員), 株式会社☆○△□ 画像技術センター

N##o S#####shima, Image Engineering Center, F##### Corporation

発表2: 設計、製造技術からみた〇〇〇化の動向

☆山○之進(会員), □〇〇□株式会社 △△研究所

M###noshin H####yama, W##### Laboratory, H##### Company Ltd.

発表3: 環境面からの〇〇〇化に対する法規制の動向(仮)

未定

Not yet determined

発表者 3 名以上の場合、同様に追加

【企画テーマの分野】(以下から選択してください)

- デジタルファブリケーション等、新規応用分野における実用課題、技術の方向性について
- 電子文書とハードコピーの役割、課題と将来など
- 画像認識、画像感性とイメージング技術との関わり、応用展開など
- 環境、省エネルギー観点から見たイメージング技術の役割、将来性
- その他()

【討論形式】(以下から選択してください)

- 全体討議, 作業
- グループ討議, 作業
- 定員の希望: 20名(20名を標準と考えて下さい)

【使用言語】

- 日本語 英語,

【機器の使用希望】

- プロジェクター, ホワイトボード,
- ビデオ再生装置(メディア:),
- 複写機, プリンター,
- その他(),

【企画の「未定」項目に対する措置】

(発表者が未定の場合や、追加の発表者を考えている方で、以下の希望がありますか)

- 実行委員会に、発表者の人選、紹介などの協力を依頼したい。
- ウェブ上で、発表者を募集したい
- 特に希望しない

【経費の見込み】

(以下の名目で経費の発生する予定がありますか)

発表者への謝礼, 交通費

ありの場合、その理由と概算額

・特になし

・

当日配布, 使用する教材, 資料の制作費

ありの場合、その用途と概算額

・発表資料のコピー約 10 頁×25 部(¥2500)

・

【その他の希望】

(企画、運営上、実行委員会に協力依頼したい事項があれば)

・未定の発表者には JBMIA 委員などの業界規格動向に詳しい方をお願いしたい。

【企画趣旨説明】

現状認識

近年、電子写真をはじめとするデジタルプリント技術が、オフセット印刷市場への参入を開始しているが、依然としてオフセット印刷の持つ☆☆性能に対する電子写真トナーのそれは、劣勢であり、印刷市場への参入範囲が限定されている。

☆☆性能を向上するためにトナーの○○○化の効果が報告されている。一方で環境への配慮から、△△△の影響を懸念して、○○○化自体には業界として、積極的な動きが見られない現状である。

問題の所在

これまで○○○化と☆☆性能と△△△の影響についての関連性は一般的には認められているものの、どれが限界性能を決めているのかについては、3者を同時に議論されることがなく、明確にはされてこなかった。

解決の手法, 論点

本ワークショップでは、それぞれの状況に詳しいスピーカーより、現状の限界を示唆する技術情報の提供を受け、比較検討することで、現在の限界を決めている因子を特定し、打開策として提示される方策の有効性について議論する。

さらに、将来の技術の伸びしろや、法規制の動向も考えて、今後の可能性について議論し、他の印字方式、オフセット印刷との将来の競合関係についても予測する。

期待する参加者層

現像剤および電子写真技術者
製品企画, 製品開発担当者
画像設計, 画像評価技術者
環境推進部署従事者